

団体名	札幌中国語医療通訳グループ							
事業名	中国人留学生のための医療通訳サポート事業							
実施期間	平成30年5月1日～平成31年1月31日							
場 所	札幌市とその周辺の医療機関等							
参加者数	外国人留学生及びその家族	その他外国人	日本人学生	医療関係者	通訳スタッフ	大学関係者	その他(来場者等)	合計
	188			465	232			885名

<実施内容>

1、留学生やその家族からのメール依頼により、札幌市内の医療機関等で通訳サポートを行った。
 ・診療科は内科、小児科、肛門科、婦人科、矯正歯科、口腔外科、消化器内科、外科、産科、泌尿器科、皮膚科、産科病棟、整形外科・保育園、行政機関(区役所・国際プラザ・保健センター)、大学保健センターに同行し通訳サポートを行った。特に妊娠中の依頼では妊娠・出産・産後・赤ちゃんについて、病院や行政機関(保健センター、区役所窓口)などで患者さん各家族へ長期間にわたって通訳サポートを行った。分娩時のために一昨年度作成した「入院のタイミング」、「入院中のスケジュール」の日本語資料の中国語訳を渡した。また、入院中の通訳不在時の医療者とのコミュニケーションのため、「ママと赤ちゃんのサポートシリーズ」の入院中の会話用語の中日対訳をプリントして、留学生と医療者に渡した。

2、研修会、ミーティングを定期的に行い、通訳に必要な知識を学び、それぞれが実践から学んだものをメンバーに還元した。
 医療用語集(財団法人中国残留孤児援護基金による)、「实用医学漢語(・臨床編)産婦人科・内科」中国での医学留学生のための教本を使用し、医療場面での中国語表現を学んだり、厚生労働省医療通訳者育成カリキュラム「医療通訳テキスト」を使用し、読み合わせしながら実際の通訳場面の振り返りを行った。また、中国人医師より通訳同行に必要な医学知識「乳幼児健診(4ヶ月、10ヶ月、1歳半、3歳児健診)」「小児先天性及び遺伝性疾患」「消化器内科の基礎知識、主な疾患と治療」「眼科の基礎知識」の講義を受けた。それぞれの講義で中国語での医学知識の他、中国で行われている治療や検査などについての考え方の違いや、中国語表現を学んだ。ミーティングでは通訳報告を通して患者への通訳に必要な情報を交換した。

<記録写真>



医師の医学講義



当グループのちらし



ミーティング

<参加者からのコメント>

匿名(中国)/原文中国語表記

このグループの活動は日本語の上手でない留学生には非常に大きな助けになり、大変感謝しています。

匿名(中国)/原文中国語表記

通訳につきそってもらい、安心し、温かい気持ちになりました。通訳のみなさんは親切で、とても忍耐強く、本当にこのグループに感謝しています。私たち外国人はもう心配することはありません。ありがとうございました。